

食糧は人間生活にとって欠くことのできないものであるが、現代	30
ではこれを生産するには、農機具・肥料・園芸施設などが必要であ	60
る。これらを工場で作るには、鉄鋼・アルミなどの資材と、石油・	90
電力などのエネルギーがなければならないし、農機具や園芸施設を	120
動かすにもエネルギーが必要である。	138
また、我々の家庭生活でも照明や冷暖房の調整から、テレビや乗	168
用車にいたるまで、さまざまな資源とエネルギーを必要とする。現	198
代の工業化社会においては、産業活動から国民経済にいたるまで、	228
こうした大量の資源・エネルギーの消費により、成り立っているの	258
である。したがって、経済成長し生活水準が高まるほど、それだけ	288
資源・エネルギーの消費も増大することになる。	310

最近のコンピュータ技術と、通信技術の結合によって、これまで	30
時間や距離の問題から、克服できなかった障害を取り除き、より人	60
と人との交流を深めたりして、それを高めるシステムとして、CS	90
CWが注目されてきた。	102
技術的な面からいえば、このシステムは遠隔地に散在する集団構	132
成員が、文書ファイルや情報ファイルを共有し、物理的・地理的・	162
時間的制約を克服して、共同作業を加工することである。	189
要するに、集団による知的活動の道具であって、我が国ではコン	219
ピュータ支援の協力作業とか、コンピュータを用いた、協調活動支	249
援などと訳されている。	261
コンピュータを共同作業に使うと、パソコン通信の電子掲示板を	291
連想する人が、数多くいることであろう。	310